

みずほマーケット・トピック(2017年6月16日)

週末版

内容 1. 為替相場の動向

2. 来週の注目材料

誠に恐れ入りますが「3. 本日のトピック」はお休みさせていただきます。

1. 為替相場の動向(関連レポート:「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

- 今週のドル/円相場は週後半に上下に激しく振れる展開。週初 12 日に 110 円台前半でオープンしたドル/円は、日経平均株価が軟調となる中で上値重く推移し、米 3 年債入札が好調な結果となり米金利が低下すると、109 円台後半まで下落した。しかし、週内の FOMC を控えて様子見ムードが強い中、米 10 年債入札を無難にこなした米金利が上昇に転じるとドル/円も反発した。13 日は前日にカナダ中銀のウィルキンス上級副総裁がタカ派な発言をしたことが改めて意識され、カナダドル/円が堅調となる中でドル/円は 110 円台前半まで上値を切り上げたが、その後は翌日に FOMC を控えて動意が乏しい展開。14 日は米 5 月消費者物価指数や米 5 月小売売上高の予想比下振れを受けて 109 円台前半まで急落。さらに、FRB のスタッフ経済見通しで 2017 年のインフレ見通しが下方修正されたことに反応し、一時週安値となる 108.81 円まで値を下げた。だが、バランスシート縮小に関する基本計画が発表されたことや、イエレン FRB 議長が足許のインフレ率低下は一時的とする発言を手がかりに 109 円台後半まで買い戻された。15 日は米 6 月ニューヨーク連銀製造業景気指数が予想を上回ったことや米金利が上昇する動きに、ドル/円は前日の高値を上抜けするとストップを巻き込みながら 110 円手前まで上昇。本日も堅調な動きが続き、111 円を上抜けて週高値をつけている。
- 今週のユーロ/ドル相場は FOMC 前後で激しい値動きとなった。週初 12 日に 1.12 近辺でオープンしたユーロ/ドルは、先週の英総選挙の余韻が残る中でユーロ/ポンドの上昇を横目に 1.12 台前半まで上昇するもその後は反落。13 日は 1.12 を下回る軟調な展開となるも、ドイツのショイブле財務相が「ECB は現行の量的緩和策を縮小する必要がある」との発言を手がかりに 1.12 前半まで反発。その後は、14 日の FOMC を控えて上値が重い展開となった。14 日、1.12 台前半で推移していたユーロ/ドルは、米経済指標の予想を下回る結果を受けて一時週高値となる 1.1296 まで急騰。しかし、イエレン議長のタカ派発言や米金利上昇を受けて 1.20 割れまで急落する値動きの荒い展開となった。15 日は BOE の金融政策委員会で利上げを支持する委員が増加したことを受けたユーロ/ポンドが急落する動きや、米金利の上昇などを受けたドル買いの動きに、一時週安値となる 1.1132 まで値を下げた。本日のユーロ/ドルは、1.11 台半ば近辺で動意に乏しい展開が続いている。

今週のおもな金融市場動向(出所:ブルームバーグ、みずほ銀行)

		前週末	今 週			
		6/9(Fri)	6/12(Mon)	6/13(Tue)	6/14(Wed)	6/15(Thu)
ドル/円	東京9:00	109.87	110.32	109.93	110.07	109.44
	High	110.81	110.44	110.27	110.34	110.98
	Low	109.82	109.64	109.83	108.81	109.28
	NY 17:00	110.33	109.95	110.08	109.53	110.94
ユーロ/ドル	東京9:00	1.1191	1.1201	1.1197	1.1210	1.1214
	High	1.1215	1.1232	1.1225	1.1296	1.1229
	Low	1.1167	1.1192	1.1186	1.1193	1.1132
	NY 17:00	1.1194	1.1204	1.1211	1.1218	1.1144
ユーロ/円	東京9:00	123.02	123.58	123.09	123.37	122.73
	High	123.85	123.73	123.75	123.63	123.70
	Low	122.82	122.80	123.03	122.78	122.40
	NY 17:00	123.49	123.17	123.41	122.92	123.64
日経平均株価		20,013.26	19,908.58	19,898.75	19,883.52	19,831.82
TOPIX		1,591.66	1,591.55	1,593.51	1,591.77	1,588.09
NYダウ工業株30種平均		21,271.97	21,235.67	21,328.47	21,374.56	21,359.90
NASDAQ		6,207.92	6,175.47	6,220.37	6,194.89	6,165.50
日本10年債		0.06%	0.06%	0.06%	0.07%	0.05%
米国10年債		2.20%	2.21%	2.21%	2.13%	2.16%
原油価格(WTI)		45.83	46.08	46.46	44.73	44.46
金(NY)		1,266.63	1,265.90	1,266.60	1,260.77	1,253.92

ドル/円相場の動向



ユーロ/ドル相場の動向



2. 来週の注目材料

- ・米国では、今晚に5月住宅着工件数の発表がある。4月の住宅着工件数は前月比▲2.6%の年率+117.2万件と2か月連続で減少した。振れの大きい集合住宅の着工減少が押し下げていることもあり、5月は前月比+4.1%の年率+122.0万件と反発する見通しである。着工の先行指標となる住宅建設許可件数も、5月は前月比+1.7%の年率+124.9万件と増加が見込まれている。また、同日発表される6月ミシガン大学消費者マインド指数(速報)は97.0と(4月:97.1)から小幅に低下するものの、引き続き高水準を維持するとみられる。週明け21日(水)には、5月中古住宅販売の発表が予定されている。先行指標である中古住宅販売留保指数が2か月連続で減少(3月:前月比▲0.9%、4月:同▲1.3%)する中、5月中古住宅販売も同▲0.4%の年率+555万件と予測されている。23日(金)に発表される5月新築住宅販売は、前月比+5.5%の年率+60.0万件と増加しそうだ。関連統計は、住宅ローン申請件数は月次平均でみると3か月連続で増加しているほか、5月NAHB住宅市場指数も前月から上昇し、高水準を維持している。金融政策に関しては、今晚にカプラン・ダラス連銀総裁が講演を行うほか、19日(月)にダドリー・NY連銀総裁とエバンス・シカゴ連銀総裁、20日(火)にはフィッシャーFRB副議長の講演などが予定されている。
- ・本邦では、19日(月)に5月貿易統計の発表がある。5月上中旬(1~20日)分の貿易統計では、輸出は前年比+19.1%(4月上中旬:同+6.5%)、輸入は同+12.2%(4月上中旬:同+15.4%)となり、貿易収支は4511億円の赤字となった。報道によれば、輸出は自動車や船舶、半導体などの電子部品が増加し、輸入は液化天然ガス(LNG)や石炭、石油製品などが増えたようだ。営業日数の違いなどを考慮すると、5月下旬の輸出入の前年比を上中旬よりも押し上げに寄与したと考えられるものの、2016年4月中旬に発生した熊本地震の影響を考慮し、市場では4月全体の輸出は同+15.5%、輸入は同+12.5%と予想されている。また、貿易収支は479億円の黒字、季節調整値では4433億円の黒字が見込まれている。このほか、金融政策に関しては、21日(水)に日銀金融政策決定会合議事要旨(4月26~27日開催分)の公表があるほか、本日と21日(水)に黒田総裁の講演、22日(木)には岩田副総裁の講演などが予定されている。

	本 邦	海 外
6月16日(金)	_____	・米5月住宅着工 ・米6月ミシガン大学消費者マインド(速報) ・ユーロ圏5月消費者物価(確報)
19日(月)	・5月貿易統計	_____
20日(火)	_____	・米1~3月期経常収支 ・ユーロ圏4月経常収支
21日(水)	・日銀金融政策決定会合議事要旨(4月26~27日開催分)	・米5月中古住宅販売
22日(木)	_____	・米5月景気先行指数
23日(金)	_____	・米5月新築住宅販売 ・ユーロ圏6月製造業/サービスPMI(速報)

【当面の主要行事日程(2017年6月~)】

米 FOMC(7月25~26日、9月19~20日、10月31日~11月1日)
 ECB 政策理事会(7月20日、9月7日、10月26日)
 日銀金融政策決定会合(7月19~20日、9月20~21日、10月30~31日)
 G20 首脳会議(7月7~8日)
 ドイツ総選挙(9月24日)

国際為替部
 チーフマーケット・エコノミスト
 唐鎌 大輔(TEL:03-3242-7065)
daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

経済指標カレンダー (2017年6月)

月	火	水	木	金	週末
			1 日本 法人企業統計(1～3月期) 日本 自動車販売台数(5月) 米国 ADP雇用統計(5月) 米国 労働生産性(確報、1～3月期) 米国 ISM製造業景気指数(5月) 米国 建設支出(4月)	2 日本 マネタリーベース(5月) 米国 雇用統計(5月) 米国 貿易収支(4月)	
5 米国 製造業新規受注(4月) 米国 耐久財受注(確報、4月)	6 日本 毎月勤労統計(4月) 米国 労働市場情勢指数(5月)	7 日本 景気動向指数(速報、4月) 米国 消費者信用残高(4月) ユーロ圏 GDP(確報、1～3月期) ドイツ 製造業受注(4月)	8 日本 GDP(1～3月期、確報) 日本 国際収支(4月) 日本 貸出・預金動向(5月) 日本 景気ウォッチャー調査(5月) 日本 *企業倒産件数(5月) ユーロ圏 ECB理事会(タリン) ドイツ 鉱工業生産(4月)	9 日本 マネースtock(5月) 日本 第三次産業活動指数(4月) 米国 卸売在庫(確報、4月) 米国 卸売売上高(4月) ドイツ 貿易収支(4月)	
12 日本 国内企業物価(5月) 日本 機械受注(4月) 米国 財政収支(5月)	13 日本 法人企業景気予測調査(4～6月期) 米国 FOMC(～14日) 米国 生産者物価(5月) ドイツ ZEW景況指数(6月)	14 日本 鉱工業生産(確報、4月) 米国 消費者物価(5月) 米国 小売売上高(5月) 米国 企業在庫(4月) ユーロ圏 鉱工業生産(4月)	15 日本 日銀金融政策決定会合(～16日) 米国 ニューヨーク連銀製造業景気指数(6月) 米国 フィラデルフィア連銀製造業景気指数(6月) 米国 鉱工業生産(5月) 米国 TICレポート(対内対外証券投資、4月) ユーロ圏 財務相会合(ルクセンブルク) ユーロ圏 貿易収支(4月)	16 米国 住宅着工(5月) 米国 ミシガン大学消費者マインド(速報、6月) ユーロ圏 EU経済・財務相会合(ルクセンブルク) ユーロ圏 消費者物価(確報、5月)	
19 日本 貿易収支(5月)	20 米国 経常収支(1～3月期) ユーロ圏 経常収支(4月)	21 日本 金融政策決定会合議事要旨(4月26～27日開催分) 米国 中古住宅販売(5月)	22 米国 景気先行指数(5月)	23 米国 新築住宅販売(5月) ユーロ圏 製造業PMI、サービス業PMI(6月)	
26 日本 日銀金融政策決定会合による主な意見(6月15～16日開催分) 日本 企業向けサービス価格(5月) 日本 景気動向指数(確報、4月) 米国 耐久財受注(速報、5月) ドイツ IFO企業景況指数(6月)	27 米国 S&P/コアロジックケース・シラー住宅価格(4月) 米国 消費者信頼感指数(6月)	28 米国 卸売在庫(速報、5月)	29 日本 商業販売統計(5月) 米国 GDP(3次速報、1～3月期)	30 日本 労働力調査(5月) 日本 家計調査(5月) 日本 全国消費者物価(5月) 日本 東京都都区消費者物価(6月) 日本 鉱工業生産(速報、5月) 日本 新設住宅着工(5月) 米国 個人消費・所得(5月) 米国 PCEコアデフレーター(5月) 米国 シカゴ購買部協会景気指数(6月) 米国 ミシガン大学消費者マインド(確報、6月) ユーロ圏 消費者物価(速報、6月)	

(注)*を付したものは公表予定が未定であることを示す。
(資料)ブルームバーグ等より、みずほ銀行作成

経済指標カレンダー (2017年7月)

月	火	水	木	金	週末
3 日本 日銀短観(6月調査) 日本 自動車販売台数(6月) ユーロ圏 製造業PMI(確報、6月) ユーロ圏 失業率(5月) 米国 ISM製造業景気指数(6月) 米国 建設支出(5月)	4 日本 マネタリーベース(6月)	5 ユーロ圏 サービス業PMI(確報、6月) 米国 製造業新規受注(5月) 米国 耐久財受注(確報、5月) 米国 FOMC議事要旨 (6月13～14日開催分)	6 ドイツ 製造業受注(5月) ユーロ圏 ECB理事会議事要旨 (6月8日開催分) 米国 ADP雇用統計(6月) 米国 貿易収支(5月) 米国 ISM非製造業景気指数(6月)	7 日本 毎月勤労統計(5月) 日本 景気動向指数(速報、5月) ドイツ 鉱工業生産(5月) 米国 雇用統計(6月) 米国 失業率(6月) ハンブルク(ドイツ) G20首脳会議(～8日)	
10 日本 機械受注(5月) 日本 国際収支(5月) 日本 貸出・預金動向(6月) 日本 景気ウォッチャー調査(6月) ドイツ 貿易収支(5月) 米国 労働市場情勢指数(6月) 米国 消費者信用残高(5月)	11 日本 マネーストック(6月) 米国 卸売売上高(5月)	12 日本 国内企業物価(6月) 日本 第三次産業活動指数(5月) ユーロ圏 鉱工業生産(5月) 米国 ペーシェブック	13 ドイツ 消費者物価(確報、6月) 米国 生産者物価(6月) 米国 財政収支(6月)	14 日本 鉱工業生産(確報、5月) ユーロ圏 貿易収支(5月) 米国 消費者物価(6月) 米国 小売売上高(6月) 米国 鉱工業生産(6月) 米国 ミシガン大学消費者マインド(速報、7月) 米国 企業在庫(5月)	
17 日本 海の日 米国 ニューヨーク連銀製造業景気指数(7月)	18 ユーロ圏 消費者物価(確報、6月) ドイツ ZEW景況指数(7月) 米国 TICレポート(対外対内証券投資、5月)	19 日本 金融政策決定会合(～20日) 米国 住宅着工(6月)	20 日本 貿易収支(6月) ユーロ圏 経常収支(5月) ユーロ圏 ECB理事会(フランクフルト) 米国 フィラデルフィア連銀製造業景気指数(7月) 米国 景気先行指数(6月)	21	
24 日本 景気動向指数(確報、5月) ユーロ圏 製造業PMI(速報、7月) ユーロ圏 サービス業PMI(速報、7月) 米国 中古住宅販売(6月)	25 日本 金融政策決定会合議事要旨 (6月15～16日開催分) ドイツ IFO企業景況指数(7月) 米国 S&Pコアロジックケース・シラー住宅価格 (5月) 米国 消費者信頼感指数(7月) 米国 FOMC(～26日)	26 日本 企業向けサービス価格(6月) 米国 新築住宅販売(6月)	27 米国 耐久財受注(速報、6月) 米国 シカゴ購買部協会景気指数(6月)	28 日本 日銀金融政策決定会合による主な意見 (7月19～20日開催分) 日本 家計調査(6月) 日本 全国消費者物価(6月) 日本 東京都都区消費者物価(7月) ドイツ 消費者物価(速報、7月) 米国 雇用コスト(4～6月期) 米国 GDP(1次速報、4～6月期) 米国 個人消費(1次速報、4～6月期) 米国 PCEコアデフレーター(1次速報、4～6月期) 米国 ミシガン大学消費者マインド(確報、7月)	
31 日本 鉱工業生産(速報、6月) 日本 新設住宅着工(6月) ユーロ圏 失業率(6月) ユーロ圏 消費者物価指数(速報、7月)					

(注)*を付したものは公表予定が未定であることを示す。
(資料)ブルームバーグ等より、みずほ銀行作成

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です
<http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ.html> (Archives) http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ_backnumber.html

発行年月日	過去6か月のタイトル
2017年6月15日	FOMCを終えて～「笛吹けど踊らず」の状況強まる～
2017年6月14日	ユーロ相場の本格反転に必要なもの
2017年6月13日	盛り上がらない米国のインフレ期待や与信環境について
2017年6月12日	ECB政策理事会～「露払い」としてのFG文言修正～
2017年6月9日	週末版(英総選挙を受けて～「不要なギャンブル」の成れの果て～)
2017年6月8日	英下院総選挙について～直前の論点整理～
2017年6月7日	110円割れで思うこと～変わり始めた欧米の論調～
2017年6月5日	日銀総資産500兆円突破を受けて～杞憂の出口議論～
2017年6月2日	週末版(ECB政策理事会プレビュー～出口戦略の順序に変更なし～)
2017年6月1日	2016年末対外資産・負債残高統計～リスク回避の源泉～
2017年5月29日	メインシナリオのリスク点検～目立つ円高リスク～
2017年5月26日	週末版(本邦4月消費者物価指数(CPI)を受けて～依然、埋まらない日米物価格差～)
2017年5月25日	FOMC議事要旨を受けて～株価は耐えられるのか？～
2017年5月24日	相次いで弱体化するFRB高官～動揺する唯一の支え～
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2017年4月分)
2017年5月23日	メルケル首相発言を受けて～異形のドイツがすべきこと～
2017年5月22日	ドル相場の現状認識～4月分REERの公表を受けて～
2017年5月19日	週末版
2017年5月17日	ドルインデックスの急落を受けて
2017年5月16日	ユーロ相場の現状について～投機買い持ちでも上がらず～
2017年5月15日	イタリアG7を終えて～「量」か「価格」か「説得」か～
2017年5月12日	週末版(欧州委員会春季経済予測を受けて～今後心配な「スラックの格差」～)
2017年5月11日	円相場の基礎的需給環境～様変わりする景色～
2017年5月10日	米インフレ期待低迷が映す米経済への過信
2017年5月9日	米商務省声明が予感させる「理不尽な円高」
2017年5月8日	フランス大統領選挙を受けて～おさらいすべきフランスの現状～
2017年4月28日	週末版(ECB理事会を終えて～「次の一手」は引き締めが濃厚～)
2017年4月27日	ECB理事会プレビュー②～フォワードガイダンス撤廃報道について～
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2017年3月分)
2017年4月25日	メインシナリオのリスク点検～揺る「第二次ブラザ合意」疑惑～
2017年4月24日	フランス大統領選挙第1回投票～終わらない政治リスク～
2017年4月21日	週末版(ECB理事会プレビュー～争点はフォワードガイダンスの取り扱い～)
2017年4月20日	米金利低下と円高相場～投資家は「外」から「内」へ～
2017年4月19日	英総選挙の前倒し実施～「絶対に負けられない戦い」へ～
2017年4月17日	米為替政策報告書の読み方
2017年4月14日	週末版(依然として懸念されるユーロ圏の域内格差～顕著になる「地力の差」～)
2017年4月13日	改めて考えるポリシーミックスの在り方
2017年4月12日	試される「リスク回避の円買い」の妥当性
2017年4月11日	円相場の基礎的需給環境～ベシススワップと対外証券投資～
2017年4月7日	週末版(ECB理事会議事要旨～鍵を握るAPPの延長可否～)
2017年4月6日	FOMC議事要旨を受けて～「B/S縮小≠ドル高」とは限らず～
2017年4月5日	真つ当な米利上げ反対論～ブレインードからカシュカリへ～
2017年4月4日	外貨準備構成通貨の現状(2016年12月末時点)
2017年4月3日	2つの大統領令を受けて～内政の苛立ちを外交で発散へ～
2017年3月31日	週末版
2017年3月30日	ユーロ圏の物価に関する現状と展望～ECBへの影響～
2017年3月29日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2017年2月分)
2017年3月28日	メインシナリオのリスク点検～要警戒の4月中旬～
2017年3月24日	週末版(英EU離脱の正式通告について～当面の展望や為替見通し～)
2017年3月22日	ドル/円相場の水準感について～112円割れを受けて～
2017年3月21日	バーデンバーデンG20を受けて～前哨戦は米国に軍配～
2017年3月17日	週末版(日銀金融政策決定会合を終えて～再確認したい現行枠組みの脆弱性～)
2017年3月16日	FOMCを受けて～さほどハト派にあらず？～
2017年3月15日	米インフレ期待低迷から何を読むか～FOMCを前に～
2017年3月14日	円相場の基礎的需給環境～窮屈になる対外証券投資の環境～
2017年3月13日	ECB理事会を受けて～対米配慮と対独配慮に苦悶～
2017年3月10日	週末版
2017年3月3日	週末版
2017年3月2日	本邦輸出企業の採算レートをそこから推測される展開
2017年3月1日	ECB理事会プレビュー～進むも地獄、戻るも地獄～
2017年2月27日	ECB、公的部門購入プログラム(PSPP)の現状と展望
2017年2月24日	週末版(メインシナリオのリスク点検～問題の所在は全く変わらず～)
2017年2月22日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2017年1月分)
2017年2月21日	ユーロ圏投資ファンド統計～ユーロ安の底流にあるもの～
2017年2月20日	ECB理事会議事要旨～窮屈になる追加緩和の環境～
2017年2月17日	週末版(米12月対内・対外証券投資(TICレポート)～対米資本フローに表れる不信心～)
2017年2月15日	イエレンFRB議長議会証言を受けて～正常化を止めるのはドル高か～
2017年2月14日	ドル高を信用できない金融市場の現状～需給への影響も～
2017年2月13日	日米首脳会談を終えて～円高警戒は解けず～
2017年2月10日	週末版(再燃する対ドイツ格差問題～新しい欧州経済・金融のテーマ～)
2017年2月9日	円相場の基礎的需給環境～2016年国際収支を受けて～
2017年2月3日	週末版(トランプ大統領が日本を付け狙う理由～「返り血」が少ない喧嘩相手？～)
2017年2月1日	日銀金融政策決定会合～トランプとFTPLの狭間で～
2017年1月30日	メインシナリオのリスク点検～不幸を生むドル高は続かず～
2017年1月27日	週末版
2017年1月26日	日銀による国債買い入れオペレーション～為替からの読み方～
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2016年12月分)
2017年1月25日	貿易収支の調整経路～「理不尽な円高」は不可避か～
2017年1月23日	ECB理事会を終えて～窮屈になる緩和環境～
2017年1月20日	週末版
2017年1月19日	改善が顕著なユーロ圏の与信・物価状況～ECBは慢心せず～
2017年1月18日	メイ英首相演説を受けて～反EUの「悪い見本」になるのか？～
2017年1月17日	目の敵にされる4つの通貨～対米黒字を稼ぐ「悪」の枢軸？～
2017年1月16日	ECB理事会プレビュー～「可能な限り、現状維持」が本音～
2017年1月13日	週末版(円相場における実需と投機の現状について～対外証券投資にまつわる懸念事項も～)
2017年1月12日	トランプ次期大統領会見について～トランプはトランプのまま～
2017年1月11日	「国際金融のトリレンマ」を通じた日中比較
2017年1月6日	週末版(外貨準備構成通貨の現状(2016年9月末時点)～ユーロの独り負けだった過去3年～)
2017年1月5日	FOMC議事要旨(12月13～14日開催分)を受けて
2017年1月4日	2017年のドル相場について～空中戦はどこまで続くか～
2016年12月27日	2017年、為替相場の勘所～実効ベースで複眼的に～